

3 /15
2025

下京のひびき



市民しんぶん下京区版 下京区役所



つながる・ひろがる・みんなでつくる

みどりがつなぐまちづくり

色とりどりの花壇や公園などみどりのある風景は、私たちの心をほっと和ませ、暮らしを豊かにしてくれます。みどりに関わる取り組みが、地域の交流、つながりの場となっている、区内の活動をご紹介します。

地域の方に喜んでいただける居場所づくり

稚松学区「緑と花の地域づくり」会



下京涉成小学校の子どもたちの学びの場として、稚松公園の一角につくられている花壇と畑。稚松学区有志の皆さんが日々の手入れなど、運営のサポートをされています。散歩の途中に花壇を見て楽しむ人や、幼稚園の子どもたちが花壇の花に集まる蝶やトンボを見に来たり。夏休みのラジオ体操に来た子どもたちが収穫したミニトマトが、家庭での話題になっていることもあるそうです。

「子どもは地域で育てる」「地域の人に喜んでいただける」ことを大切に、「ひととのつながり」「居場所づくり」になればと、皆さんで「仲良く、楽しく」をモットーに活動されています。

挿し木によって土地や人々の記憶をつなぐ

崇仁すくすくセンター挿し木プロジェクト



京都市立芸術大学や京都市立美術工芸高等学校の移転などによって、まちが大きく変化する崇仁地域。崇仁すくすくセンター実行委員会では、この土地で人々と共に暮らしを見守ってきた樹木を挿し木にして、受けつなぎ、地域の方々と共に成長を見守る活動をされています。

かつて木と共にあった崇仁のまちの風景や、挿し木が地面に戻った後のまちや人々の姿を想像し、挿し木としては育たなかった木も生かしながら、挿し木に関連した作品を地域の方々で制作されています。また京都芸大の学生や美術工芸高校園芸部の生徒の方々とも、作品制作を介した新たなつながりが生まれています。



未来につなげる緑化の場に

京都エコシューレ

将来的にみどりや土に関わり、環境問題にも配慮した地域のコミュニティをつくることのできる子どもや若者の育成を応援されている京都エコシューレ。

下京いきいき市民活動センターで堆肥づくり、綿花やホップ、野菜づくり等、テラスを活用した緑化活動をされています。

活動を通して、子どもも大人も体験や実験することで生まれる「気づき、学びの機会」を大切にしながら、地域の方々や学生、いきいきセンターの利用者さんとの関わりの中で、交流の輪を広げていくことを目指されています。



地元企業と地域の連携から生まれる交流の場

タキイ講座@梅逕学区・梅の花カフェ



下京区梅逕学区に本社を置くタキイ種苗株式会社。野菜、花の種や苗の開発・生産・販売を世界各地で幅広く展開される種苗メーカー大手で、今年、創業190周年を迎えます。また、食育や障害のある方の就労支援など地域共生にも協力されています。

梅逕自治連合会からのお声掛けを受け、同会が元梅逕中学校で運営する、地域の高齢者のための居場所「梅の花カフェ」にも協力。社員が講師となり、市街地に適したベランダ等の省スペースでもできる畑づくりや寄せ植え講座、種を使った作品づくり講座等を月1回開催されています。

講座後にタキイ種苗の方と地域の皆さんで「春から何をつくろうか」とお話ししながら楽しく交流されている様子から、企業と地域住民の垣根を超えて、つながりの輪が広がっていることが感じられます。